



みんなでつくる、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。

びらとり

No.750

2025. 2026.

12・1



午年。。。ウマくいく一年でありますように
撮影・有限会社 中田牧場 (去場)

『まちの政策』 町議会行政報告

日高総合開発期成会としての
要望経過を報告します。

① ホッカイドウ競馬の永続的
な発展に関する要望

今年の発売額は573億円を
超え、過去最高額を更新する結
果となりましたが、この収益を
競馬事業へ優先的に還元するこ
と。また、すでに工事が進んで
いる厩舎、厩務員住宅等の移転
新築など、老朽化の進む施設整
備を着実に進めることなどを要
望しました。

11月4日に北海道知事、北海
道農政部長、北海道競馬事業室
長ほかへ要望しています。

② 大規模災害に備えた代替
(避難)道路の新設に関する緊
急要望

近い将来予想される日本海
溝、千島海溝沖地震に伴う津波
などによつて日高沿岸の主要道
路が被災を受けた場合、交通手
段の確保のため、代替となる道
路の新設の早期検討と計画的推
進を要望しました。

【12月17日定例会 要望経過報告】

学校活動の状況

9月中旬から10月にかけて、各中小学校で学習発表会、学校祭が開催されました。各校とともに児童生徒と教職員が一つとなり、発表もいろいろな工夫を凝

今年度の全国学力学習状況調査については、4月に小学校6年生と中学校3年生を対象として実施しています。平取町の状況としては、小中学校とともに、全国よりやや低いものの、ほぼ平均並みで、日高管内では高い状況です。学力調査に合わせて、児童生徒質問紙も実施されました。

教育長 松田拓美

教育行政報告

要望経過を報告します。
①ホツカイドウ競馬の永続的な発展に関する要望

道建設部長、北海道議会議員ほかへ要望しています。
③高規格道路「日高自動車道」の整備促進の要望
今年度には新冠インターまで開通が予定されていますが、その先の早期整備に関して、今年7月に要請した重点項目について再度要望しました。
11月18(土)19日にかけ、道内選出国会議員、財務省、国土交通

児童・保護者の心身の負担が大きく、保護された児童の的確なケアにも支障をきたしています。また、道内でも広域の管轄区域であり、虐待件数、保護件数の多さにより課題が生じていることから、室蘭児童相談所苦小牧分室への一次保護所機能の設置を要望しました。

11月26日に北海道知事、北海道保健福祉部長ほかへ要望しています。

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、心からお歓びを申し上げます。



行政報告

【11月26日臨時会】

通鑑卷之三

畜産物の生産への影響を心配する状況になっています。このようなかが、びらとりトマトの令和7年の販売額は42億8千万円となり、昨年の販売額を上回りました。きゅうりの販売額も3億7千万円、米の価格も高い水準で推移しましたので、農業が基幹産業の平取町にとつては大変喜ばしい結果となりました。改めて生産者や関係者皆様の日頃の努力に敬意を表させていただきます。

さらにトマトをはじめとする農畜産物の供給地として、安定的な生産を維持するため、新規就農者支援、チャレンジ農場の運営、スマート農業の推進など、各種農業振興施策を引き続き拡充していきます。

地域に高校がなくなることで町が衰退することは、他の自治体の例を見ても明らかです。持続可能なまちづくりを進めるうえで、地域の最高峰である高校の存続は必須の条件と捉えています。生徒の減少により存続が厳しくなっている道立平取高校は、生徒確保のため、令和6年から地域みらい留学プログラムを活用した生徒の全国募集を行っています。昨年は内部進学率も向上し、道外からの生徒を含め21名の生徒を確保し存続の条件を満たすことができました。全国からの入学者が増えたことにより、現在の寮では受入れが難しくなり、今年は40

人規模の高校生寮を建設し、生徒たちの良好な生活環境の確保を図る予定です。地元をはじめ全国の進学者が平取高校を選んでもらえるよう、高校、行政、地域が一体となつて、平取高校の魅力化をさらに進めていきたいと考えています。

また、昨年9月には6年振りに「平取町・二風谷国際先住民族政策の現状などを国内外に発信する」とともに、それぞれの国や地域の課題を共有し、議論する有意義な機会になつたと思っています。このようないきたいと思います。

平取町は令和4年度にゼロカーボンシティの宣言をしています。令和6年度に平取町地球温暖化対策実行計画（ゼロカーボン計画）を策定し、令和27年（2045年）に基準年度の120%の温室効果ガスの削減を目指すこととしています。現在、木質バイオマス発電、熱供給施設により国保病院の化石燃料使用量の抑制とCO₂の削減に努めています。今後さらにびらとり温泉でのバイオマス燃料ボイラーの導入や農業生産と合わせて行うソーラーシェアリングの導入などについて検討し、域内の温室効果ガスの実質的削減に向け取り組みを強化したいと考えています。

そして、新たな地域の素材を活用した商品開発や財源確保のためふるさと納税の取り組みも強化を図つていきます。

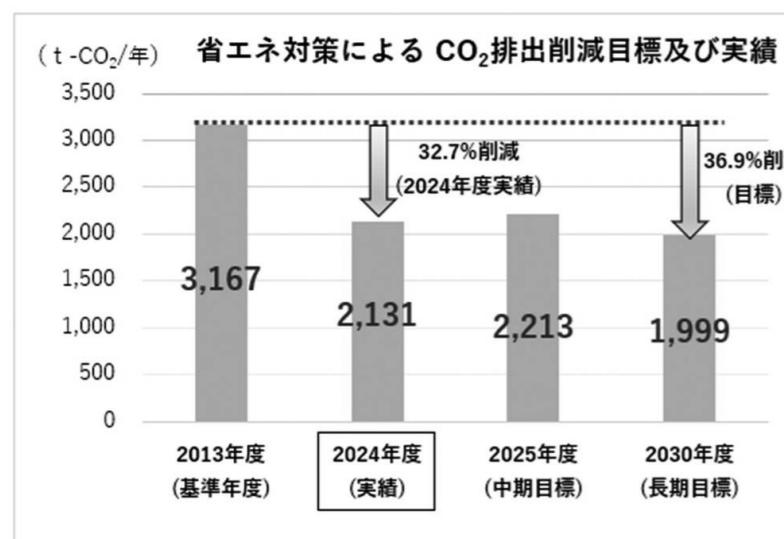
町議会議長	同	同	副議長	高山修
議員	同	同	議員	四戸正彦
議員	同	同	議員	中川嘉久
議員	同	同	議員	松澤以久子
議員	同	同	議員	木村英彦
議員	同	同	議員	金谷満
議員	同	同	議員	崎廣秀樹
議員	同	同	議員	萱野久彦
監査委員	代表	大崎哲也	千葉良則	千葉良則
農業委員会会長	選挙管理委員会委員長	宮入司	大崎哲也	大崎哲也
公平委員会委員長	民生児童委員協議会会长	三神玲子	萱野久彦	萱野久彦
副町長	和田与志男	奥村寛行	千葉良則	千葉良則
教育長	佐藤和三	佐藤和三	木村英彦	木村英彦
	拓美	松田拓美	中川嘉久	中川嘉久

平取町地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)実績報告 2024 年度

町では、温室効果ガス排出量を削減することを目的とした「平取町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しています。

この計画では、町が管理する施設において2013年度を基準に省エネ対策と再生可能エネルギーの導入により、2030年度に温室効果ガスであるCO₂排出量の51%削減を目指しています。

© 2024 年度の温室効果ガス (CO_2) の排出状況



2024年度の各施設・車両によるCO₂排出量は2,131tで、基準年度の2013年度と比べ32.7%(1,036t)の減少となり、中期目標値の2,213tを下回る排出量となりました。

今後、2030年度のCO₂排出量削減目標を達成するため、より一層の削減に向けた取り組みと「省エネ」だけではなく「創エネ」の取り組みを推進します。

《エネルギー別CO₂排出量内訳》

項目	2013年度 (基準年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	前年度比		基準年度比	
				(割合)		(割合)	
ガソリン	168	39	38	▲1	▲2.6%	▲130	▲77.4%
灯油	832	748	653	▲95	▲12.7%	▲179	▲21.5%
軽油	3	33	27	▲6	▲18.2%	24	800.0%
A重油	611	263	270	7	2.7%	▲341	▲55.8%
LPG	42	36	38	2	5.6%	▲4	▲9.5%
電気	1,511	1,048	1,105	57	5.4%	▲406	▲26.9%
合計	3,167	2,167	2,131	▲36	▲1.7%	▲1,036	▲32.7%



令和8年度の入学者数は、昨年度比較で1名増の21名となつてあります。学校別では、紫雲古津小学校は2名、平取小学校は14名、一風谷小学校は1名、貫気別小学校は2名、振内小学校は2名となり、町内の子どもの数が、減つてきていることは明かです。

令和8年度 新入学児童数

各教科で身に着けたことを
様々な課題の解決に生かすこと
ができた」「他者と協力しあい
学習課題や活動を工夫した」な
どの項目は、全国平均より高い
回答率となっていました。

これまで同様に「授業改善」
等に役立て、平取町の子ども達
のために、家庭・学校・教育委員
会が連携した取り組みを進めて
いきます。

(結果の詳細は教育委員会からの
お知らせ参照)

振内中学校の状況

教育委員会の「令和9年度統合」案に対し、「保育所・小中学校合同PTA役員会」「長知内・振内・岩知志・豊糠4地区の自治会長」は、「令和8年度から振内中学校の複式は解消され、教員数は元に戻り、またいろいろな意見のあるなかで統合することは時期尚早である」と意見を最終的にまとめました。この意見を教育委員会と町部局で検討した結果、令和9年度の振内・平取中学校の統合は見送ると結論付け、11月11日の総務文教常任委員会に報告、その後、保護者・地域住民にも周知しました。

小中学校の今後あり方については、各校の児童生徒が減少していく状況を伝えながら、保護者や地域の状況や考え方を聞き



固定資産評価審査委員（再任）
蘆原宏昭氏（振内町）
任期 令和7年8月12日
～令和10年8月11日

教育委員（再任）
小林明美氏（荷菜）
任期 令和7年10月28日
～令和11年10月27日

代表監査委員
大崎哲也氏(荷菜)
任期 令和8年1月1日
～令和11年12月31日

文化財活動

10月7日～11月30日には、沙流川歴史館特別展「未来に残そ
う大切な樹木保存樹と推しの木」、10月12日に歴史館講座「ま
ちの名木をめぐるバス見学会」の実施、また、10月19日には文
化的景観現地説明会「沙流川流域のチヤシ跡を見る」、26日に
博物館特別展講座「あの頃のトトロ谷を語ろう」などのイベン
ト等を開催し、令和7年10月末現在の博物館入館実績は19人とな
っています。



取り、ともに考え、子ども達にとって最適な教育環境を整えていくよう努力していきます。

町議会において 選任、再任された各委員

令和6年度 決算報告

一般会計歳入・歳出の状況等

歳入は、決算額が76億600万円、対前年度比で9.3%の増となりました。主な増減としては、地方交付税が4.4%（1億5,400万円）の増、国庫支出金がアイヌ政策推進交付金等により18.1%（1億6,355万円）の増、道支出金が過年発生災害復旧費補助金等により32.8%（1億5,542万円）の増、寄附金がふるさと納税寄附金等により100.8%（1億5,038万円）の増、町債が54.4%（2億2,233万円）の増となり、繰入金は皆減（2億7,574万円の減）となりました。

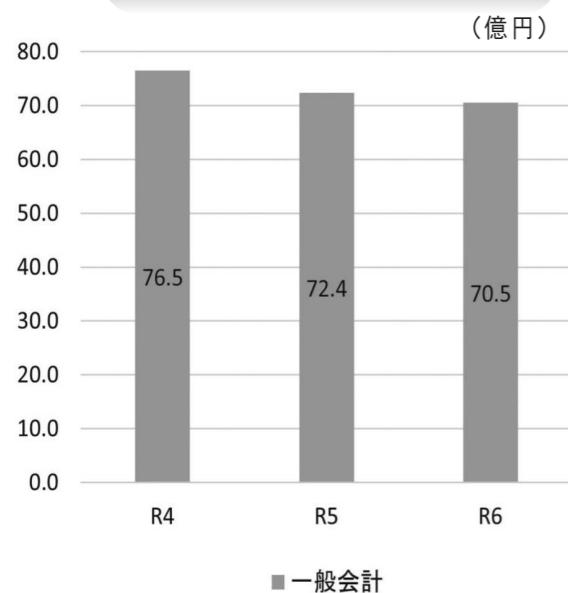
歳出は、決算額が75億429万円、対前年度比で9.3%の増となりました。主な増減としては、物件費がふるさと納税への返礼費用等により12.1%（1億251万円）の増、災害復旧事業費が181.2%（1億9,566万円）の増、積立金が159.3%（1億679万円）の増となりました。

人件費や扶助費、公債費などの義務的経費の占める割合が前年度の36.9%から34.8%へと2.1ポイント減少したものの、依然として高い数値となっていますが、今後においても歳出の削減、歳入の確保に努力し自立した行財政運営を推進していきます。

特別会計・企業会計

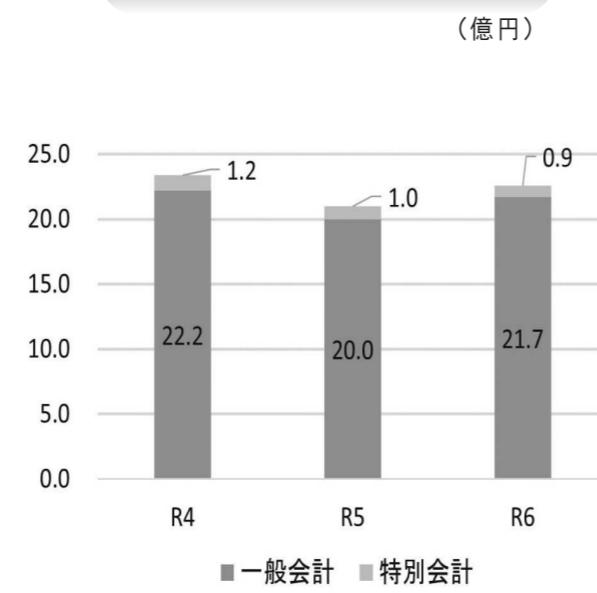
項目	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	5億9,604万円	5億9,544万円
後期高齢者医療特別会計	1億1,564万円	1億1,564万円
介護保険特別会計	5億4,352万円	5億3,078万円
国民健康保険病院特別会計	10億1,963万円	10億0,797万円
簡易水道事業会計	3億6,806万円	4億5,046万円
合 計	26億4,289万円	27億0,029万円

町債残高の推移



町債の残高（町の借金）は、前年度から1億9,707万円減少し、70億4,755万円となりました。

基金残高の推移

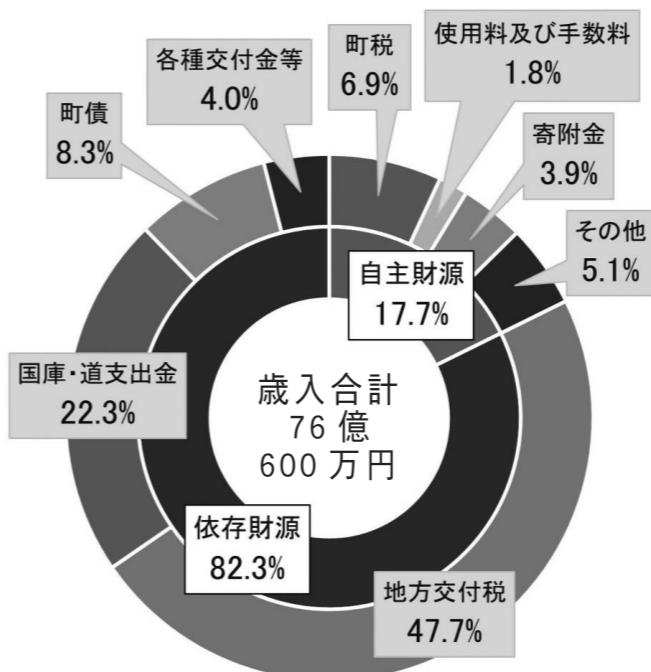


基金の残高（町の貯金）は、前年度から1億6,855万円増加し、21億7,112万円となりました。

令和6年度の一般会計決算および各特別会計決算が、令和7年12月開催の町議会定例会で認定されました。一般会計の決算の概要および財政状況をお知らせします。

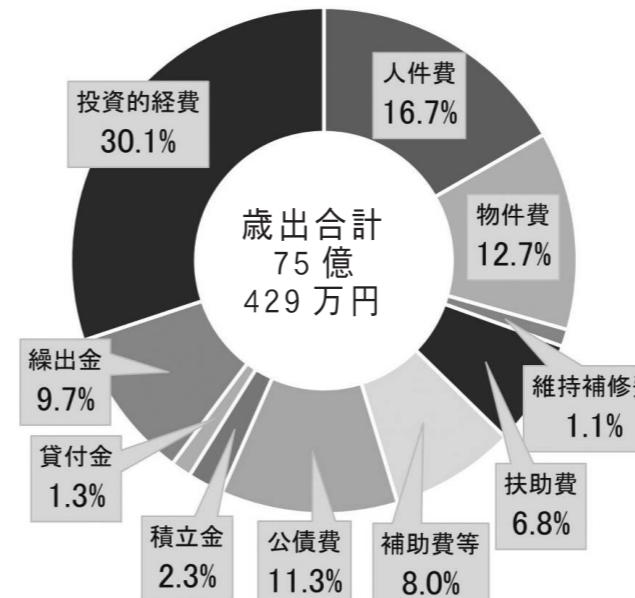
歳入の決算総額は76億600万円で、前年度決算額69億5,647万円と比較し、6億4,953万円の増となりました。歳出の決算総額は75億429万円で、前年度決算額68億6,769万円と比較し、6億3,660万円の増加となりました。

歳入の内訳



区分	決算額
町税	5億2,777万円
使用料及び手数料	1億3,752万円
寄附金	2億9,960万円
繰入金	0万円
その他	3億8,527万円
財産収入	6,242万円
繰越金	8,879万円
諸収入	2億3,406万円
地方交付税	36億2,667万円
国庫・道支出金	16億9,463万円
町債	6億3,102万円
各種交付金等	3億0,352万円

歳出の内訳



区分	決算額
人件費	12億5,450万円
物件費	9億5,210万円
維持補修費	8,139万円
扶助費	5億0,720万円
補助費等	5億9,882万円
公債費	8億5,010万円
積立金	1億7,381万円
貸付金	1億0,146万円
繰出金	7億2,831万円
投資的経費	22億5,660万円
補助事業	11億1,173万円
単独事業	8億4,125万円
災害復旧費	3億0,362万円

町民1人当たりの決算額

◆町税負担額 120,578円

◆使われた経費 1,714,483円

※金額は一般会計の決算額を令和7年3月31日現在の人口4,377人で割ったもの。

平取町の皆さんに知ってほしい 地域みらい留学生のおはなし

国際交流事業☆海外研修inハワイ



9月30日（火）～10月4日（土）まで国際交流事業海外研修でハワイへ行きました。

日本とは全く異なる文化に触れ、多くを学び、グローバルな視野を身につけて帰ってきたようです。

この経験を糧に、国際社会でも活躍できる人間へと成長していきますように。



ハワイ・カイルア高校来校

帰国して間もなく、海外研修で交流のあったハワイ・カイルア高校の生徒の皆さんが来校してくださいました。

言葉の壁を越え、全校生徒と一緒にとても楽しい交流の時間を過ごしました。

なかでも“鬼ごっこ”が一番盛り上がっていたようでした。



国際交流事業報告会inふれあいセンター

海外研修から無事に帰国し、その興奮が冷めやらぬまま現地での研修内容を町民の皆さんへご報告しました。

語学力の重要性や多様な社会を生き抜くうえで大変意義のある研修だったことなど、学生たちの素直な感想がとても印象的でした。



Instagramでも地域みらい留学生の日常生活や学校生活の様子を発信しています！
頑張る寮生にエールを！！（高校魅力化コーディネーター 土佐・飯塚）
✉: coordinator.biratori01@gmail.com



令和7年度アイヌ政策推進交付金事業

平取高校国際交流事業（海外研修in ハワイ）

「異文化を理解・尊重し、自己の文化への理解を深めつつ他者と共に生きる資質やコミュニケーション力を養う」ことを目的とした平取町青少年国際交流事業は、令和6年度から平取高校海外研修として取り組まれ、今年は9月30日(火)～10月4日(土)まで、平取高校1年生と2年生の20名がハワイ研修に参加しました。

平取高校では、昨年度より高校魅力化の一環として「アイヌ文化学習」を取り入れ、ハワイ研修は、世界の他の先住民との交流を図り「異なる文化や価値を理解し、協働社会を探求する学習の機会とする」と位置づけています。ハワイ先住民との交流のなかで日頃のアイヌ文化学習の成果を発表することも研修の目的としています。

また、この海外研修は「アイヌ政策推進交付金」を活用した研修事業のひとつです。



ビショップ博物館見学

日本語展示解説でハワイ王国の歴史、ハワイアンの文化について深く学びました。

博物館内では、ハワイ語とフラダンスのワークショップも体験しました。

ポリネシアンカルチャーセンター訪問

ここではハワイだけでなく、ポリネシアンの島々の他の文化も体験と共に学べ、先住民族の文化が繋がっていることを実感しました。各島の文化を紹介する舞台は、その迫力、クオリティーの高さとともに圧巻でした。



カイルア高校訪問

同学年の地元高校生約30名と交流を行いました。歓迎の儀式後、室内でそれぞれの文化を紹介。ハワイの生徒からは、鳥の羽で作る伝統的なガウンの塗り絵、自生する植物の葉を使ったネックレス作りと花作りを習いました。平取高校生からは、平取町を紹介するプレゼンテーションを2年生が担当。その後、アイヌ語、アイヌ舞踊、アイヌ紋様切り絵を紹介する班に分かれ、それぞれのワークショップを行うことで、現地高校生に全ての体験をしてもらいました。

午後は野外でハワイの伝統的な遊びを紹介してもらいながら一緒に体験し、約5時間と一緒に過ごしました。言葉の壁はありましたが、高校生同士はすぐに打ち解け、別れを惜しむほどの濃密な交流となりました。



ハワイ研修の翌週10月9日(木)には、カイルア高校の海外研修の一環として、ハワイで交流した学生10名が平取高校を訪問しました。高校生同士は再会を喜び、さらに絆を深くした様子でした。

今回の研修で、特にカイルア高校との交流では、平取高校の生徒たちが目的意識を持ち、発表の事前準備を綿密に行つたことで、とても良い交流が出来ました。若いうちに世界の他の文化を肌で感じることの出来るとても有意義な研修になりました。



旭日単光章 受章

令和7年秋の叙勲において、平成11年12月から令和元年12月まで平取町選挙管理委員会委員、さらに平成15年12月からは平取町選挙管理委員会委員長を務められた遠藤 裕昭 氏（本町）が旭日単光章を受章されました。

国政選挙をはじめ各公職選挙の適正な執行や「明るい選挙」の推進に長きにわたりご尽力されました。



◆ ご寄附・地域貢献活動に感謝します ◆



地崎道路株式会社 北海道支店（執行役員支店長 平田 孝幸 氏）より、振内小学校校舎前舗装整備と振内中学校校舎前環境整備、一般国道237号 振内舗装工事現場見学会を開催していただきました。



本町 丹野 幸信 様より、寄附金をいただきました。ご厚意に感謝いたします。有効に活用させていただきます。

公益社団法人日本博物館協会を通じ、一般財団法人日本宝くじ協会より、二風谷アイヌ文化博物館に車いすが寄贈されました。ご厚意に感謝いたします。

無料で貸し出しをしていますので、ぜひご利用ください。

株式会社 小金澤組（代表取締役 小金澤 昇平 氏）より、二風谷湖畔ステージ前法面整備をしていただきました。



池田建設株式会社（代表取締役 池田 厚志 氏）より、「平取町・二風谷先住民族フォーラム2025」において駐車場誘導業務をしていただきました。

12 / 2 苦小牧税務署より感謝状贈呈

国税庁が目指す「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」の取り組みのひとつであるキャッシュレス納付の利用を積極的に推進したとして、苦小牧税務署 小野寺 恵三 署長から遠藤町長に感謝状が贈られました。



12 / 3 令和7年度 北海道社会貢献賞・北海道日高振興局長表彰

社会福祉事業施設従事者として20年以上勤務し、業務に精励されたことに対し、平取町社会福祉協議会 事務局長 大塚 美加 氏が北海道社会貢献賞を受賞され、12月3日㈭に遠藤町長より伝達されました。

同日、民生委員・児童委員として12年以上在職され、地域の福祉活動への尽力に対し、北海道日高振興局長表彰（社会福祉事業功労者）が、日高振興局 河端 有希子 くらし・子育て担当部長から4名の委員に贈られました。



民生委員・児童委員（前列左から）
和田 与志男 氏 遠藤 一紀 氏 木村 榮 氏 合田 待子 氏

12 / 5 令和7年度 日高管内「北方領土を知るつどい」

ロシアによるウクライナ侵攻に対する日本への制裁でビザなし交流や北方墓参などの事業が中止となるなか、戦後80年、元島民の切望や北方領土の現状について知ってもらう機会として「北方領土を知るつどい」がふれあいセンターひらとりで開催されました。

元島民で語り部として活動する千島歯舞諸島居住者連盟理事長 松本 侑三 氏より、領土問題や領土返還を求める運動への理解や関心を深めてほしいと日本固有の領土である北方四島への想いを語られました。



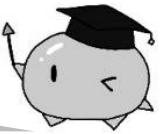
12 / 10 「愛の鈴」贈呈 交通安全指導員表彰

令和8年度新入学児童の交通安全を祈願する「愛の鈴」が、平取町商工会女性部（部長 伸山美枝子 氏）より、平取町交通安全推進委員会長である遠藤町長へ贈呈されました。4月の入学式に児童に贈られます。

また、平取町交通安全推進委員会 交通安全指導員表彰において、大西 順子 氏（15年表彰・貫気別）、佐々木 直樹 氏（5年表彰・荷負）が受賞されました。



教育委員会からのお知らせ



各教科の全国・全道比は、国語がほぼ同様か高い状況、理科は小中とも高い状況となり、算数・数学に課題が見られる結果となりました。～令和7年度 全国学力・学習状況調査結果から～

令和7年4月17日、文部科学省は「全国学力・学習状況調査」を実施し、全国の小学校6年生と中学校3年生の全児童・生徒を対象に、国語、算数（小）・数学（中）理科の3教科と、児童・生徒質問紙において様々な視点からの学習状況の傾向について調査を行いました。今年度は、中学校の理科と児童・生徒質問紙についてはオンラインでタブレットを使用して行われました。北海道教育委員会では調査結果を分析・考察し、11月上旬に公表しました。この調査結果を基にした平取町の児童・生徒の平均正答率の概要は、下表のとおりです。

【全国・全道との平均正答率の比較、左側：小学校 右側：中学校】
7校 72名が対象
《小学校6年生》 《中学校3年生》

全国/全道比較数値 %	全国平均正答率からみた平取町平均正答率との比較	全道平均正答率からみた平取町平均正答率との比較	全国平均正答率からみた平取町平均正答率との比較	全道平均正答率からみた平取町平均正答率との比較
相当高い +7以上			理科	理科
高い +5～+7			国語	国語
やや高い +3～+5				
ほぼ同様上位 +1～+3		理科		
ほぼ同様 -1～+1	理科		数学	
ほぼ同様下位 -3～-1	国語	国語		数学
やや低い -5～-3			算数	
低い -7～-5	算数			
相当低い -7以下				

- 小学校の国語では、自分の意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考え方と比較しながら考えをまとめる力は身についていますが、目的に応じて文章と図表を結び付けるなどして、必要な情報を見つける力は改善が求められます。
- 小学校の理科では、全道・全国平均を超えており、概ね良好でした。記述式の問題については、平均を下回っているので今後の課題と捉えられます。
- 中学校の国語と理科は全道・全国平均を大きく上回っており、良好な結果でした。全国と同様に、国語の文章を整える力や、理科の生命にかかる知識が概念として身についていない生徒が多い結果となりました。
- 小・中とも、算数・数学の教科は、全道・全国を下回っており、課題があります。
- ※中学校の理科は全員が同じ設問ではなく、20問の設問のうちランダムに選ばれた10間に回答する方式となっており、単純に比較することはできませんが、答えた設問について、平取町は高い結果となっています。

平取町としての学力向上策（各学校での主な取り組み例）

- ◆少人数指導による個別化された指導の充実：TT（チームティーチング）指導や習熟度別指導の充実
- ◆標準学力調査実施（全国学調と同日に小6、中3以外）：児童生徒の実態把握による指導の充実
- ◆放課後子ども教室や休業中の学習サポート（各校による） ◆平取義経塾（通年開設）
- ◆チャレンジテストの効果的な活用 ◆朝読書（全校読書）・読み聞かせの実施
- ◆各種検定事業参加（漢字検定・英語検定）：学習意欲の向上
- ◆家庭学習の取組：家庭学習強化週間の設定、家庭学習の手引の効果的な活用
- ◆町指定教育推進事業・公開研究会による「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく授業改善の推進
- ◆指導方法の工夫改善 課題設定・まとめ・振り返りの時間の設定、ノート指導
- ◆ICT活用の促進・・・一人一台端末による「個別最適な学び」の充実
- ◆小・中連携による系統的な学習の促進
- ◆各種研修への積極参加による授業改善の推進



【R7 全国学力・学習状況調査・質問紙における平取町の結果から】

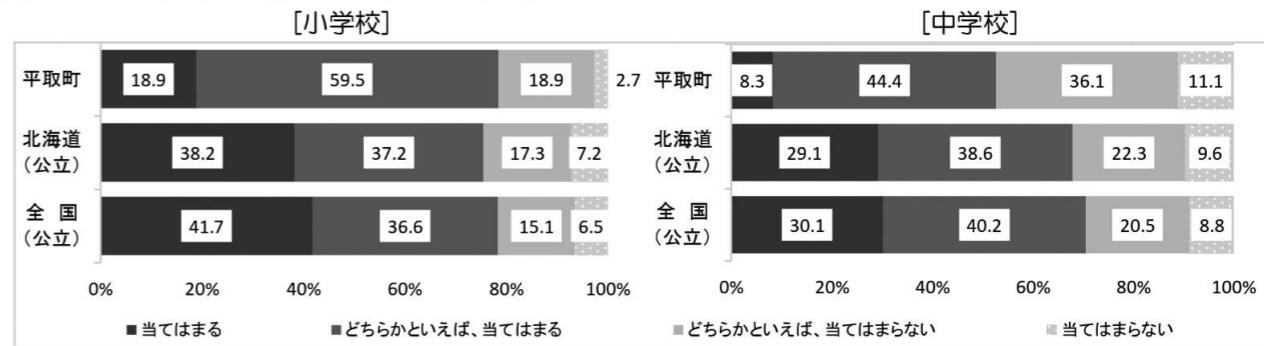
学力調査に合わせて、児童・生徒質問紙調査も実施されました。小学校86、中学校76の質問項目がありましたが、その中からいくつかについて平取町の状況をお知らせします。

- ◇朝食を毎日食べている・・・全国と比較し、小学校4.9%、中学校は20.4%低い。全く食べていない児童・生徒も小学校で1.1%、中学校で0.2%多く、中学校は大きく差があった。
- ◇自分にはよいところがあるか・・・自己肯定感については、小学校が昨年度より10%以上上昇した。
- ◇将来の夢や目標をもっている子どもは、昨年度より割合が減少しており、特に中学生は全国より低い。
- ◇地域の大人との係りに関する質問について、小学校は高い数値となっている。
- ◇「読書は好きですか」という設問では、全国に比べて読書が好きな子どもが多い結果となっている。
- ◇ICTの活用について、昨年度より活用内容について詳しく尋ねる質問となっており、全国と比べると特に小学生について、文書作成・情報収集等ができるという意識が高い数値となっていた。

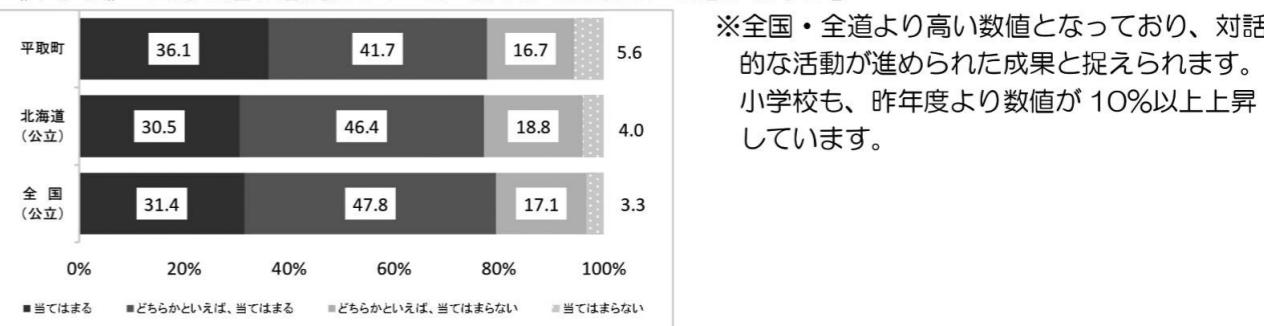
小学校では、ICT活用に関する質問についても高い数値となっており、子どもがICTを活用して意欲的に授業に取り組み、かつ内容的にも昨年度より深められている、と捉えられます。

- ◇算数・数学の勉強について、苦手意識がある児童生徒が多いと捉えられる。

【算数・数学の授業の内容はよく分かりますか】



◇《中学校》「自分と違う意見について、考えるのは楽しいと思いますか」



※全国・全道より高い数値となっており、対話的な活動が進められた成果と捉えられます。小学校も、昨年度より数値が10%以上上昇しています。

★地域で子どもを育てるために★

●平取町では、令和7年度の教育行政執行方針の中で、「誰もが安全で安心な学習機会を得られるよう努めるとともに、地域が持続的に発展できるよう、学校と地域、教育委員会が連携協働しながら課題解決を図り、地域創生の力となる教育行政を進める」ことを示しています。

生きる力を育む学校教育を推進するために、子どもが主体的に考え、自分の意見等に自信をもって表現することができる教育活動を目指して、各校は授業改善に日々取り組んでいるところです。

毎年実施されている全国学力・学習状況調査や、平取町で行っている標準学力調査において、各教科の点数だけではなく、質問紙の回答から見えてくる児童・生徒の状況を把握・分析・共有したうえで、各学校が研修等を通して日常の授業実践につなげる努力を重ねています。

子どもが生き生きと生活し、望ましい人間形成を積み上げていくためには、学校だけではなく、家庭や地域の力がとても大切です。学校行事や地域の行事等で子どもたちの姿をご覧いただき、様々な視点から支援をしたり、見守っていただくことが、地域で子どもを育てることがあります。地域の子どもが未来で羽ばたき、様々な形で活躍してくれることを願いながら、地域との連携協働を進めていきたいと思います。



令和7年度 平取町小・中学校作品展 開催

ふれあいセンターびらとりにおいて、11月15日(土)から21日(金)までの7日間、図画・工作・書写・壁新聞など234作品を展示し、平取町小・中学校作品展を開催しました。児童・生徒の日頃の学習成果の発表の場として、毎年多くの作品が出品されています。

作品づくりを通して、自己の表現力を伸ばし、表現することの楽しさを味わうことができます。また、町内各学校の様々な作品を鑑賞する活動を通して、自分の見方や感じ方を広げることもできます。

期間中は、220名ほどの来場者があり、子どもたちの作品を熱心に鑑賞していました。



平取町コミュニティ・スクールレター 地域と学校、びらとりのみらい

紫雲古津小学校 総合的な学習の時間・ふるさと教育（アイヌ文化学習）

今年度も4回にわたり、アイヌ文化学習を行っています。平取町教育委員会の関根健司さんをはじめ複数の方々を講師として、5月9日にはアイヌ語やアイヌ民族の生活について、7月11日にはアイヌ文化と野草について（自然体験学習）、10月27日にはアイヌの食文化について学習しました。



2月13日には、学習のまとめ（発表・交流会）を予定しています。

子どもたちは大変興味をもって楽しそうに学び、アイヌ文化への理解を深めています。

昨年度から始まった2年生家庭科の裁縫の授業へのサポートを、今年度も1学期から3~4名の地域の方々にしていただいている。

針への糸通しや、なみ縫いや返し縫などの基礎的な縫い方に苦戦する生徒にアドバイスをいただいている。

2年生の課題はスウェーデン刺繡を施したペンケースづくりですが、現在はペンケースの表面の細かい刺繡を行っています。刺繡が完成すると、3学期にミシンを使ってペンケースの形にしていきます。サポートの方からは、「毎回、楽しく参加させていただき、生徒さんと交流できてうれしいです」と好評をいただいている。

大変お忙しいなか、ご協力いただいた地域の方々により感謝申し上げます。



平取中学校 家庭科の裁縫へのご協力



第45回 平取町女性の集い

11月30日(日)に中央公民館で、第45回平取町女性の集いを開催しました。

平取町内の女性の社会貢献を進めるための学習と女性同士の交流・親睦の機会を目的として行っている本事業は、午前に、まず議会の仕組みについて講演があり、社会への理解を深める真剣な学びの時間となりました。

続いて、介護予防教室で活動されているNPO法人ソーシャルビジネス推進センターの鳥井直人氏と斎藤健豊氏による体を動かすことに関する講話を聞いた後、頭を使うストレッチや、チームで記憶力が必要となるボール投げゲームを行いました。上げる手足や記憶がちぐはぐになり、会場に笑い声が響き渡り、参加者同士の距離が一気に縮まりました。

午後からは、テレビでお馴染み「あぐり王国北海道」のHBCアナウンサー森結有花氏が登場し、番組の楽しい裏話や、北海道農業の素晴らしさと魅力について講演され、最後に森アナウンサーの特技であるハンドベルで「笑点」のテーマ曲などが披露されました。

今回初めて行われた景品付きお楽しみ会では、10チーム対抗で玉入れ・輪投げ・ペタンクの3種類のゲームを行いました。参加者全員が本気の白熱した戦いとなり、チームの垣根を越えた熱い応援が行われ、女性同士の交流はさらに深まりました。最後に参加者全員が輪になり平取音頭を楽しく踊りました。

学びあり、笑いあり、そして熱い戦いあり。第45回平取町女性の集いは、参加者一人ひとりの笑顔と活気が結集し、大盛況のうちに幕を閉じました。



チームで戦え!! 目指せ優勝!! 全町小学生ドッジボール大会

11月8日(土)、第14回全町小学生ドッジボール大会が町民体育館で開催されました。例年この時期に開催される大会に、今年は全町から、1~3年生の部2チーム、4~6年生の部5チームの計7チーム57名が参加し、リーグ戦による勝ち点制で順位を決定しました。

試合は、1セット4分間の2セットマッチで行われ、守備ラインをそろえて守るチームや、あと一歩及ばず負けてしまったチームなど僅差の試合も多く、白熱した熱い戦いが繰り広げられ、応援にきていた保護者や先生方からは熱く温かい声援が送られました。

各クラスの優勝から3位までのチームには体育館館長から賞状と賞品が、参加者全員には参加賞が贈られました。来年も多くの参加者と熱い戦いを期待します。



<1~3年生の部>
優勝 最強チーム
準優勝 3年生さいきょうチーム

<4~6年生の部>
優勝 平取キングス
準優勝 SSドッジファイアーズ
3位 勝てるぞ4年生!
4位 振内ファイター
5位 チームぬきべつ

平取町役場 総務課（代表）	☎ 2-2221
まちづくり課	☎ 2-2222
アイヌ施策推進課	☎ 2-2341
観光商工課	☎ 3-7703
産業課	☎ 2-2223
農業委員会・土地改良区	☎ 2-2695
税務課	☎ 2-2224
出納室	☎ 2-2225
建設水道課	☎ 2-2226
議会事務局	☎ 2-2227

櫛の実俳句会

ストーブに炊かれ過ぎた白菜透けて
白菜割る縦半四半と気持ちよく
小春日の空に動かぬ雲二つ
冬めきて力を合わせ墓じまい
白鳥が白でダム湖を埋め尽くす
ホーホーと激辛麺よ外は雪
冬立つや好きな香りに包まれて
治療後のご褒美ケークリスマス
初雪はきつねに踏まれ光る朝
冬めくやひとすじの道照る朝
沈め浮く一人たのしむ柚子湯かな
冬めいて熱い豚汁活躍す
冬立つや好きな香りに包まれて
治療後のご褒美ケークリスマス
初雪はきつねに踏まれ光る朝
冬めくやひとすじの道照る朝
沈め浮く一人たのしむ柚子湯かな

まちの人口と世帯数

(前月比)		
人 口	4,375 人	(△ 36 人)
男	2,168 人	(△ 14 人)
女	2,207 人	(△ 22 人)
世帯数	2,383 世帯	(△ 31 世帯)

※令和7年11月末現在の住民基本台帳による

戸籍の窓口

ふれあいセンターひらとり	☎ 4-6111
町民課	☎ 4-6113
保健福祉課	保健推進係・子育て支援係 ☎ 4-6112
介護支援係・介護保険係	☎ 4-6114
児童館	☎ 2-3026
子ども発達支援センター	☎ 2-3400
地域包括支援センター「ほほえみ」	☎ 2-3700

平取町教育委員会 生涯学習課	☎ 2-2619
中央公民館	☎ 2-2619
町民体育館	☎ 2-2749
二風谷アイヌ文化博物館	☎ 2-2892

沙流川歴史館	☎ 2-4085
図書館	☎ 4-6666

役場振内支所 ☎ 3-3211

役場賃氣別支所 ☎ 5-5204

平取町国民健康保険病院
☎ 2-2201

平取町社会福祉協議会
☎ 4-2267

平取町外2町衛生施設組合
☎ 2-2024

平取消防署 ☎ 2-2361

ふるさと納税寄附

令和7年11月寄附件数・寄附金額

1,003 件 21,685,100 円

令和7年度累計

(4月1日～11月31日まで)

11,771 件 229,613,603 円

第28回
全道PKグランプリ
2026年2月1日(日)
●集合9:30 ●ゲーム開始10:00 ●終了14:30(予定)

風食は特産品のひらとり和牛、
ひらとり黒豚のバーベキューが
楽しめる!

渡辺 道政
野口 勢
正子
西 中村 長野 千葉 熊谷 川上
道政 サツ子 希 節子 新一 俊子 厚子 八重子
野口 津子
正子

二風谷ファミリーランド
総合グラウンド (平取町字二風谷92-38)

賞品
ひらとり和牛
(最高グランプリ)

参加チーム
募集中!

申込締切【申込はQRコードから】
2026年1月13日(火)

平取町公式キャラクター
「ピラッキー」

1.チームのメンバーは正選手5名、補欠2名
2.小学生1~4年/小学生5・6年/中学生/高校・
一般でリーグ戦、決勝トーナメントを行う
3.参加費: 1チーム)
●小・中学生/ 7,000円
●高校一般/11,000円
(保険料・7名分の昼食代込)

お問い合わせ先
全道PKグランプリ実行委員会 TEL.01457-3-7703
(平取町役場内)
主催: 全道PKグランプリ実行委員会 共催: 株式会社北海道日刊スポーツ新聞社

全道PKグランプリ



ホームページ

QR コード